

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:	
会議等の開催日時: 令和6年6月3日付けで、甲州市歴史的風致維持向上計画協議会の委員の方へ進捗評価シートを郵送。6月28日を締切にし、意見集約を行った。	
(コメントの概要)	
P.3「甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業」 令和6年度に完成を予定している特定物件の修理事業を円滑に進むように、よく進捗管理をしていただきたい。 P.5「史跡勝沼氏館跡保存整備事業」 勝沼氏館跡については、「保存活用計画」の策定の準備が進められているということなので、まずは「保存活用計画」の策定が大前提である。 P.8「甲州市農村ワーキングホリデー事業」/P.15「文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画」 市農林振興部局と密に連携しながら事業を進めていただきたい。 P.11「市内伝統芸能・祭典継承事業」 一之瀬高橋の春駒については、県立博物館を会場に披露することができ、県民に芸能の大切さを広く周知することができたと感じる。 P.12「歴史的風致散策・景観形成協働事業」 伝統的建造物群保存地区の上条集落で、収穫体験や景観形成事業を地元住民と協働して実施できていることは、大いに評価できる。 P.13「文化財の保存又は活用の現状と今後の方針」 重要文化財 旧高野家住宅の東門、馬小屋の茅葺屋根が経年劣化により阻害されているため、修理の協議を進めていただきたい。また、今後の文化財の修理・整備事業は、長期計画として市全体でよく検討していくことが肝要である。 国登録有形文化財も市内に多く点在しているが、中央区区民会館(旧千野学校)のき損が見られるので次年度、修理を進めていただきたい。 P.16「文化財の防災に関する具体的な計画」 令和5年度に伝統的建造物群保存地区内において、小型ポンプを設置したことは評価できる。	